



■銀の馬車道 1回目

銀の馬車道

GIN NO BASHAMICHI

● 日 程：4月17日(火)
● 参加者：L上田 SL三木(悦) 内海 大谷 狩集 黒本 高島 橋本(健) 廣岡
藤原(千) 待場 山本(正一)

- 行動記録：JR姫路駅7:23 発～生野駅(8:50 着)9:05 発～生野書院(9:15 着)9:35 発～生野代官所跡(9:38 着)9:43 発～生野の街並み散策(寺町通り～甲社宅・9:47 着)10:12 発～盛明橋(10:44 着)10:47 発～地藏堂(トイレ休憩・10:58 着)11:10 発～生野峠 11:28 発～大歳神社(昼食・11:45 着)12:15 発～道の駅(13:22 着)13:42 発～新野駅(15:30 着)15:49 発～JR姫路駅(16:29 着)

♣♣銀の馬車道を歩く・・・1回目(生野から新野)

待場

明治初期、生野鉾山から姫路飾磨港まで約49kmを結ぶ馬車道専用道路として作られた日本初の高速道路と言われている「生野鉾山寮馬車道」＝「銀の馬車道」を歩く。

姫路駅からの播但線で生野へ、ちょっと期待していた銀の馬車道デザイン電車ではなかったけど…こんなにもガタガタと揺れる電車に乗るのは久しぶりだった。平日とあって結構乗客が多く学生でいっぱいだ。

生野駅に着き、子供の頃、父親から明延鉾山・神子畑鉾山・生野鉾山の話や馬車で運んだことなどの話を良く聞いたので思い出しながら懐かしくスタートした。

最初に行ったのが「生野書院」。生野に残る貴重な資料が展示してあり、館の人の説明を聞き少し歩くと7つの寺院が並んでいるのを見て不思議な気がした。生野町では石垣やお寺にもカラミ石(鉾石を製錬する時に残ったかすを固めた石)が沢山使われていた。



幼少時代に朝来市旧生野鉾山職員宿舎で過ごし、後に黒澤明監督作品に数多く出演した名優の志村喬記念館を見学し、1部残されているトロッコ道と古い建物など歴史を身近に感じながら歩いていると、Kさんがここ私の故郷だと。家の跡や中学校、高校の前を歩き懐かしく思われたことでしょう。

生野鉾山長の朝倉盛明の名が付けられた余りにも立派な「盛明橋」にちょっとびっくりした。

1番楽しみにしていた「銀の馬車道交流館」は休館日で残念だった。ここを過ぎて少しずつわずかな上りとはいえ生野峠はしんどかった。峠を越せばやれやれと思い、下り出すとよく聞く「ヨーデルの森」を過ぎてみじの新緑と八重の椿が綺麗な「大歳神社」でお弁当にした。

神河町道の駅で休憩をして後は駅までと思ったが新野駅までは、かなり距離があった。

新野と言えば「水車の里」。今も回り続けていると言う水車をホームから見学をして電車に乗った。次回は新野駅からのスタートだ。

昔のままの馬車道もほんの1部残っていて当時の街の様子や熱気を感じさせてくれる風景にいくつも出会うことが出来た。ウォーキング、散策には丁度いいお天気で良かった。1回目、無事に楽しく歩くことが出来た。

リーダー、皆さん有難うございました。2回目、3回目が楽しみです。



■六甲山東半縦走(宝塚から新神戸)

- 日 程：4月22日(日)
- 参加者：L赤木 SL須増 瀧原 西口

- 行動記録：阪急宝塚駅(8:52着)9:00発～塩尾寺(9:50着・ストレッチ)10:00発～大谷乗越(11:00着)11:05発～途中昼食休憩(11:55着)12:10発～船坂峠(12:20着)～六甲最高峰手前休憩(12:50着)13:00発～六甲最高峰(13:40着)13:50発～ガーデンテラス(15:00着)15:10発～六甲記念碑台(15:40着)～藤原商店(15:55着)16:10発～三国池分岐(16:15着)～摩耶山(掬星台17:10着)17:20発～市ヶ原(18:40着)18:45発～JR新神戸駅(19:30着)

◆◆ほほえみ返し 新緑の中280円を体感

赤木

阪急三宮駅宝塚までの切符を買う。今日は三宮から宝塚までの運賃280円分に行く東半縦である。朝9時宝塚を出発。塩尾寺まではあいかわらずの急登、晴天で気温もかなり高くなりそうだ。

塩尾寺からは樹林帯の縦走路、新緑の木漏れ日を受け道もなだらかである。今日は4人(赤木、須増、瀧原、西口)での山行、すれ違いもスムーズにいくので最適の人数かもしれない。

気心が知れているのでワイワイと楽しい。4月の山は新緑、つつじ、馬酔木、山桜の花が咲くなかに行く。

大谷乗越、棚越、船坂峠と進んでいくが、かなり暑くまたしんどくなってくる、サッと涼しいみどりの風がわたると元気が出る、車の音が聞こえだすとすぐ車道との合流点だ。

一軒茶屋からは縦走路を行くと言うと、西口さん、瀧原さん「えっ、上へあがるの？」と口を尖らす。「たまには、最高峰で記念写真を撮ろう」と強引に出発。広々とした気持ちのいい頂上では多くの人が出た、2人もまんざらでもなさそうであった。

心ない悪意、黒く塗られた東北震災記念碑を確認。縦走路を行く道は車道を横断しながら北側、南側と繰り返しながらつづく。





斜面の下の方に咲いているヤマボウシの真っ白い花が目飛び込む。いつも見る花と違う鮮やかさだ。いつもは下から葉越しに花を見ているが、上から見ると薄緑の葉をバックに白い花が浮き上がるこの発見はうれしかった。極楽茶屋前の大きな山桜がいま満開、山桜は日に輝く花より日陰で見ると緑の葉と白い花びらがくっきりと浮かび絵のように美しい、ゆっくりと花見をした。

ガーデンテラス、ゴルフ場、記念碑台その先には藤原商店、アイスを食べる、西口さん瀧原さんはさかんにアイス談義をしている。

“生ビール始めました。”の札が気になってしょうがない。

丁字が辻、三国池、柚谷峠をすぎるとアゴニー坂の急な登りが待っている、「掬星台はまだ？」と瀧原さん、「すぐそこ」、「赤木さんのすぐそこは、当てにならんよ」と西口さん、須増さんはいつもの笑顔、ちょっと！口を動かさずに足を動かしてよ。

掬星台はバーベキューのいい匂いで迎えてくれた。天狗道は下りもきつく布引ハーブ園との分岐で振り返ると残照に新緑が浮き上がる。

「あっ、山笑う」「ほんとだ」見ればヨレヨレなので、「山に笑われんようにしいよ」「あれはほほえみ」と瀧原さん、「そんなら、微笑み返しをしときよ」、2人が素直に返事をしたので思わず笑った、いつもにこやかな須増さんは無関心。

市ヶ原から布引、だんだん暗くなる懐中電灯をつける、目の前にスゴイ迫力で三宮の夜景がとびこんできた、きょう最後のごほうびだ。

西口さん、瀧原さんも三宮まで歩くと嬉しいことを言ってくれていたが、結局二人は地下鉄に乗り三宮で待ってくれると言う。須増さんと2人で三宮まで歩いた。夜7時45分、三宮で合流して“ざこば”に直行。みんな今日の280円山行を喜んでくれた。乾杯!!



■城崎宿泊山行 女性委員会山行

- 日程：4月22日(日)～23日(月)
- 参加者：La 垣内 SLa 田中(美) 小田 砂川(美) 矢根
Lb 苦瓜 SLb 香川 有本 川上 中村 村上 山下(純)

● 行動記録：

(来日岳) 城崎温泉駅 10:35 発～来日岳登山口(11:00 着) 11:10 発～304mピーク(12:20 着) 12:40 発～来日岳中間地点(12:45 着)～来日岳山頂(13:40 着) 14:05 発～紅葉平(14:45 着) 15:00 発～城崎温泉街(16:30 着)

(有子山) 豊岡駅バス 9:54 発～出石駅(10:31 着)～有子山城本丸跡(12:05 着) 12:15 発～出石市街(13:00 着) 14:00 発～出石バス停(14:45 着) 14:55 発～豊岡駅(16:00 着)

♣♣来日岳(566.7m)有子山(321m)に登って 小田

城崎温泉が目にとまり何も考えず申し込んだのですが、計画書が来て山を見てみたら低山ですが中々な山のように、“大丈夫だろうか”と不安に思いながら当日になり、初めての所へ行くので朝から緊張感でいっぱい。

福崎駅から2名乗車で皆様と合流し城崎温泉駅へ。駅から徒歩で円山川沿いの県道を歩いて登山口まで行くとシャガの花がきれいに咲いていました。登山口でストレッチをして山登り、

目の前を見ると急勾配です。どうやって登るのかと思ったらちゃんと登山道がありました。ほんの少し歩いたところで大嫌いなへびに出会いました。登山道を歩いているとやぶ椿がきれいで石仏が等間隔に在って歩いている人を見守ってくれているように思いました。

昼食をとり元気になって頂上へ。展望台から見る円山川河口辺りは絶景でした。天気が良かったから周りの景色も良く、登って来てしんどかったのがこの景色でふっ飛んでしまいました。

歩いている時に紫色や白色のイカリソウが沢山咲いていました。また下山の時ふくろうの声やキツツキが木を突いてる音が聞こえて歩いているのが楽しい。大師山山頂にロープウェイ乗り場がありましたが、乗らずにきつい階段を下って温泉寺に着きました。もう少し下ったところでストレッチをして旅館のバスが来る鴻池共同温泉パーキングへ行き、今夜の泊りの大江戸温泉城崎の巡回バスに乗りました。楽しい食事はバイキングでゆっくりと食事ができて満足、満足でした。温泉はいいですね

次の日は出石の有子山、豊岡からバスに揺られる事40分で出石に着き登山口へ向かいました。橋を渡って稲荷山の鳥居を結構な数くぐって出石城天守閣跡を見て有子山の頂上へ向かいましたがこれがまたきつい急勾配です。足が遅くなり前の人と遠くなり気持ちは焦るが足が思うように動かない。ゆっくり歩いて急勾配を登り切りました。ホッ！。ついでにいただきましたLのNさん有り難うございました。

途中では石垣のそばのわらびに声をあげたりしながら頂上に着きました。有子山山頂からの見晴らしはすばらしく出石の街並みや丸山川の流れに感動しました。下山途中に食べごろの筍に出会ったりきれいな山藤がみられたりしました。出石へ向かっているときバスからコウノトリを見ることが出来ましたが、なんと有子山を下りて来たところで、つがいの羽根を広げて飛んで行くコウノトリを見ることが出来て嬉しい限りでした。

町までもう少し歩いて中心街へでました。出石蕎麦も美味しくいただき、出石の町を堪能して豊岡駅から播但線に乗って帰って来ました。皆さまお疲れさまでした。ありがとうございました。



■鈴鹿山地 霊仙山360度の大展望を楽しむ

- 日 程：4月27日(金)～28日(土)
- 参加者：L澤田(律) SL砂川(延) 赤木 大谷 兼澤 田羅間 中村 待場 和田

● 行動記録：

(27日) 山電高砂駅6:00 発—JR宝殿駅6:13—樽ヶ畑登山口(9:25 着)9:50 発～汗拭き峠(10:14 着)10:20 発～見晴らし台 11:00～お虎ヶ池 11:44～経塚山(12:09 着)12:32 発～最高峰 12:45～霊仙山山頂(13:39 着)13:55 発～お虎ヶ池(14:17 着)14:20 発～見晴らし台(14:45 着)15:05 発～汗拭き峠 15:35～山小屋かなや 15:45～樽ヶ畑登山口(15:55 着)16:05 発—グリーンパーク山東鴨池荘(16:45 着・泊)

(28日) グリーンパーク山東鴨池荘 8:00 発-伊吹山(8:47 着)~山頂周回 10:57 発-レストラン
(12:00 着)12:30 発- J R加古川駅 16:04- J R宝殿駅 16:30

◆◆花を求めて霊仙山、そして伊吹山へ

赤木

今回はレンタカーを利用して滋賀県の霊仙山の山行だ。参加者9人、リーダーの澤田さんから天気は大丈夫、福寿草も期待できそうと嬉しい話。ドライバーは砂川会長、約3時間で樽ヶ畑(くれがはた)登山口に到着した。

登山口から面白い道連れがあった。消防の救助訓練のメンバーで、約30キロあるという人形を6~7人で背負いながら登っていく彼等とは7合目ぐらいまで前後しながら行った。

霊仙山は、登山口から経塚山までひたすら登る山だ、下草の少ないのびのびとした広葉樹林帯をジグザグにのぼって行く。上部はカルスト地形の独特の様相を見せてくる。8合目付近からは樹木はほとんどなくなり、赤茶けた台地に石灰岩の堆積が点在する。なにか宗教的な雰囲気漂う。

経塚山から霊仙山頂上をめざしたが、最高点に上がってしまった。そのまま福寿草を求めて南霊山をめざす、東南側の斜面はかなり切り立っている。どうも福寿草はないらしいので途中から霊仙山頂上に引き返した。

この山は山頂部が広くあまりメリハリのある頂上ではないけれど、360度展望があるそうだ。今日は曇り空なので琵琶湖も霞んでいたが、藤原岳も見えたし伊吹山もと探したが雲がかかっていた。

皆は地面にさく小さな花をみつけ喜んでいて、白い花はコバノミミナグサ、黄色い花はキバナノレンリソウらしい(これは伊吹山で調べた)。雲が切れ伊吹山が黒い巨大な山容を表してくれた。

下山時、見晴台で山芍薬をじっくりと見る。

木の陰の、鮮やかな緑の葉のあいだからすつと真っ白い丸い花弁がのびている、抱え咲きの一重小輪、なかに黄色いおしべが調和し気品がある。横の谷筋でかなりの群落があり、大喜びで写真を撮った。

ヤマザクラ、ミツバツツジの紅の花、ヒトリシズカや山吹の花も見た。

米原市の鴨池荘に泊まった。

伊吹山は車で上の駐車場まで上がった。北の方に雪の白山、能郷白山が見え、東には乗鞍、北アルプスが雲海に浮かぶ、久しぶりにこんな山が見えて、うれしかった。

西の周回コースをあがり東のコースを下りた。花は霊仙山と同じような小さな白い花、黄色の花、薄ピンクの花があり、みんな喜んでいて。

帰路は滋賀県内で渋滞に巻き込まれうんざりしたが、高槻から新名神の新しい道路を思い切り走り気持ちやすっきりとした。

福寿草は残念でしたが、天気もよかったし山芍薬や他の花も見ることが出来て楽しかった。リーダーの澤田さん、砂川会長ありがとうございました。



霊仙山とヤマシャクヤク



■下山後お好み焼きと前方後円墳を巡る高御位山縦走

- 日 程：4月29日(日・祝)
- 参加者：L 森本 SL 山本(正一) 乙坂 土井 西川 藤原(浩) 松本 安田

- 行動記録：JR宝殿駅8:00発～辻登山口(8:30着)8:35発～北山分岐(9:10着)9:15発～高御位山(10:05着)10:15発～桶居山分岐(10:50着)10:55発～桶居山(12:15着)12:20発～御着登山口(13:25着)～みわや(13:30着)14:30発～壇場山古墳(15:00着)15:10発～JR御着駅(16:00着)

♣♣高御位山縦走～お好み焼きを食べに～

土井

今まで何回か御着駅から宝殿駅までの高御位山の縦走に参加したことがありますが、今回は宝殿駅から御着駅までの逆コースでした。というのも、御着で「お好み焼きを食べる」というメインイベントが待っているからです。お好み焼き屋「みわや」の営業時間に間に合うようにと8時に宝殿駅に集合、出発しました。予定では、13時30分から45分ぐらいに「みわや」に到着することになっています。予定通り着くことができるでしょうか？ちょっと不安です。

しばらく登って太閤岩に着きました。秀吉が志方城を攻めた時にこの岩に腰をおろして采配したと言われています。ここからだ敵味方の動きがよくわかったのだらうと思いました。近くには米相場の旗振り中継場所もあります。たしかに見晴らしはいい所ですが、本当に旗を振っているのが見えていたんだらうかと思いました。

いつも下っている岩場も今回のコースでは登ります。結構急な登りでしたが、頑張っで登って、高御位山山頂に10時頃着きました。ここまでは予定時間通りでした。そこで10分程休憩しましたが、水分だけ摂りました。後のお好み焼きのために我慢です



山頂から桶居山は遠かったです。途中、「桶居山はまだ見えてない。鉄塔の向こうだ」と教えてもらい、その鉄塔までがまだまだ遠かったので「まだその向こうなの？」と思いました。

登ったり下りたりしながら桶居山のとんがった形が見えた時はやっと着いたと思いました。

最後は急な下りが続いて御着の登山口に到着しました。無事予定時間通りでした。

登山口のすぐ近くに「みわや」がありました。

森本リーダーが前もって注文して下さっていたので店に入ってすぐお好み焼きが出て来ました。

1枚が結構な大きさのお好み焼きでしたが、ふわふわでビールと一緒に食べておいしかったです。店を出た後、壇場山古墳を見に行きました。兵庫県で2番目に大きい前方後円墳だそうです。その後、国分寺跡にも行きました。そこから、新幹線の踏切を通過して御着駅へと向かいました。おいしい山行を計画して下さい森本リーダーをはじめ、ご一緒した皆様、楽しかったです。

ありがとうございました。



■中央分水嶺 高島トレイル(滋賀県 福井県) 第2回目 花の百名山 山野草の宝庫 赤坂山 823m 三国山 876m

- 日 程：4月30日(月・祝)
- 参加者：L尾越 SL三木(悦) 木村 笹木 島谷 瀧原 西口 開 矢根

【トクワカソウ】

- 行動記録：JR宝殿駅5:00発ー林道ゲート(7:45着)8:00発ー黒河峠(8:45着)8:50発ー三国山(9:55着)10:05発ー明王の禿(10:45着)10:50発ー赤坂山(11:15着・昼食)11:35発ー粟柄越(11:45着)ー寒風(12:50着)13:00発ー寒風・大谷山登山口(14:20着)

♣♣若狭湾と琵琶湖をのぞむ高島トレイル

島谷

5時に宝殿駅を出発し、ジャンボタクシーは朝日をあびて滋賀県北西の高島トレイルへ向かいました。高島市といえば、昨年、道路に熊が飛び出して車と衝突してそのまま逃げ去った様子をドライブレコーダーがとらえ全国ニュースで流れました。「トレイル」でよく山が整備され、人間が山奥までお邪魔するのは熊には迷惑なことなのだろうと考えながら、午前7時45分下車。約1時間の林道歩きで登山口に到着、いよいよ山道です。

小さいかわいいお花が沢山みられました。うすいピンク色の花びらがヒダのような「トクワカソウ」。

花びらが船のイカリのような十字型の「イカリソウ」。カタクリもいたるところで凛として花びらを反り返らせていました。見晴しのよいところに出て「ここがアザラシ岩？いやまだやろ。早すぎる」などと言っていると、後ろにりっぱなアザラシ君(岩)が私達を見下ろしていました。最初の頂上の三



国山は、若狭国・越前国・近江国の三国分岐がその名の由来で、福井県と滋賀県に位置しています。明王の禿(はげ)は砂場と岩場で地図には“大パノラマ”とあります。ここでも勝手に大岩をモアイ像だとかマントヒヒだとか言って楽しく盛り上がりました。赤坂山では70Lザックをかついだ高校ワングル部と行き違い、若い力をみて「彼らは体育会系、私達は文化会。花や草木を見て楽しく歩こう。」の言葉にうなずきました。

北に若狭湾、南に琵琶湖を眺められます。メタセコイアの並木道も、水をはった水田に囲まれてとてもきれいです。山麓のマキノ高原オートキャンプ場では色とりどりのテントや車があり、さまざまに楽しんでいる人達が見えます。山道は急なところもありましたが全体に歩きやすかったです。「高島トレイル」と刷り込んであるテープが道しるべとなり、よく整備されていました。4回目の高島トレイルを楽しむメンバーもあり「前は・・・、前は・・・」と話しがはずみました。ゆっくり歩行でしたが予定より早い6時間30分で下山できました。アサリたっぷりの近江ちゃんぽんを堪能し、お花・お話し・お腹満足の文化会山行でした。

お花たち*トクワカソウ・カタクリ・イカリソウ・ショウジョウバカマ
イワカガミ・マムシソウ
*タムシバ・山桜・つつじ・ふじ



■高御位山ミニ周回(花探し)

- 日 程：5月6日(日)
- 参加者：L藤本 SL木下 赤木 黒本 高島 田中(重) 田中(由) 徳本 橋本(万) 平石 廣岡 森下 矢根 山下(雅)

- 行動記録：市ノ池公園 9:10 発～(鉄塔1・9:20 着)9:25 発～経政神社(9:45 着)9:50 発～(鉄塔2・9:55 着)～高御位山(10:50 着)11:00 発～松の木谷池(12:00 着)12:20 発～高御位山縦走路(13:10 着)13:15 発～鷹ノ巣山(13:40 着)13:45 発～百間岩(14:05 着)14:10 発～市ノ池公園(15:00 着)15:10 発～市ノ池公園(15:10 着・解散)

♣♣高御位山ミニ周回高御位山の花探し

橋本(万)



前年に続き「高御位山の花探し」に参加した。

ちょうど1年前なのに自然は変わる。今年は桜の開花も早く、ツツジ、フジ等春の花の開花は、約2週間前倒し開花となりGW前に枯れてしまっていた。昨年見られたムラサキサギゴケ、コナスビ、ヒメハギ、ハルジオン、コデマリも終わっていた。あの姫リンゴの様な赤い虫こぶの「ナラメリンゴフシ」も茶色く変色していて昨年の感動は失せていた。新

しく出会えた花は「ガクウツギ」。

松の木谷池からの復路は険しい登りと降り始めた雨との戦いで花を探す余裕なく下山した。

最後に皆さん！五月の山は途中で再度日焼け止めクリームを塗ることをお勧めします。家に帰ると家族の者に「ナンヤその顔は・・・ホッペタが猿のお尻や！」



■「初めての山歩き教室」実技山行播州の山 鶴嘴山

- 日 程：5月12日(土)
- 参加者：La 砂川(延) 松下 Lb 須増 木村 森本
教室生11名

- 行動記録：東鯉崎駅(9:35 着)9:55 発～摩崖仏(10:05 着)10:10 発～古宮天満宮(10:15 着)～屏風岩(10:45 着)10:55 発～鶴嘴山(11:45 着)～大正池出会い(13:00 着)～東山公園(14:00 着)14:30 発～播磨新宮駅(14:50 着)

◆◆第19回初めての山歩き教室 実トレーニングの感想文 平野

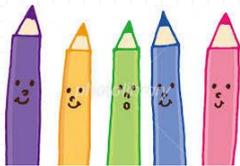
5月12日(土)に「初めての山歩き教室」の歩き方トレーニングで鶴嘴山に登りました。

この日はお天気に恵まれ、絶好の登山日和でした。4時間もの間登山をするという体験は私自身初めてのことであったので、登りの際は息切れしたり汗をかいたり、大変だと感じる場面がありました。

しかし、引率して下さった会員の皆さんや、他の参加者の皆さんから登山の知識を教えて頂いたり、皆さんと山登りの楽しさを共有出来たりしたことで、親睦を深めることができ嬉しいこ

とのほうが多かったです。また初めて登る山ということもあってか、見る風景の美しさや植物たちのきらめき、歴史を感じる摩崖仏など、そのどれもが心をわくわくとさせるものばかりで最後まで登山を楽しめました。

これから、少しずつ登山についての知識や体力を身につけていき、自立した登山愛好者になっていきたいと思います。



高森ボランティア活動報告

報告者：澤田(律)

日時：2018年5月12日(土)

場所：飯盛山からの下山口(アクア交流館金網横)～最初の鉄塔まで

参加者：貝塚(文) 澤田(律) 荘所 舛賀 待場 村上 和田

最近土曜トレーニングで、よく使用している登山道の整備を行った。
この場所は永年の雨水により深く浸食を受けており歩きにくい箇所であった。
また、陽当たりが悪くコケが土や石に付着し滑り易い箇所であった。
今回は雨水の流れを変えるために溝切り作業を行った。
しかし、下山口周辺は溝切を作っても水を流す箇所がないため、少し上の水を流すことが出来る箇所で作業をした。また、登山道周辺の草刈りを行い歩きやすい登山道へと修復できることを目指した。